学校だより　令和５年度版

あったか三川内

令和６年　３月１９日
佐世保市立三川内小学校
校長　磯平　正敏

学校教育目標：「夢に向かい　自ら学び、考え、行動する　心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【卒業証書授与式から・・・】

昨日は少し風が強かったのですが、晴天に恵まれた第７７回卒業証書授与式を執り行い、無事終了することができました。創立 150 周年を迎えた記念すべき年に、卒業生２７名が厳粛な式を終え、中学校へと飛び立っていきました。卒業生の少し緊張した引き締まった顔。前を見つめる決意の眼。卒業証書を握りしめ堂々と退場する逞しい姿。どれをとっても６年間の学びの集大成だと感じました。健やかに成長した子どもたちの前途に幸多かれと願うばかりです。また、5 年生以外の在校生も、緊張が続く中、卒業生を心からお祝いしようと一生懸命頑張りました。長時間椅子に座って黙って前を見ることは、特に低学年にとっては、気力・体力がとてもいることです。1 年生は初めての参加でしたが、しっかりと式に参加できました。「門出の言葉」は、昨年までは、コロナ禍のため縮小や歌を歌わないなどの制限がありましたが、今年度は、コロナ禍以前のものに戻した「門出の言葉」をしました。卒業生は、小学校生活での思いが強く表れていて、一人が何回もセリフを担当し、見事に発表しました。在校生は、セリフの合間に在校生の歌「大空がむかえる朝」を、体育館いっぱいに響き渡る声で歌いました。卒業生の歌は、卒業生がピアノ伴奏を行い「旅立ちの日に」を、しんみりと且つ卒業の決意を込めてのびやかに歌いました。２０分を超える「門出の言葉」でしたが、卒業式にふさわしい心に沁みる感動の場面でした。最後は、150 周年記念式典でも歌った「学校讃歌」を、全校児童で元気に歌いました。今年の卒業式には、来賓３３名が出席され、子どもたちを祝っていただきました。

また、卒業生保護者の皆様も、成長した我が子の晴れ姿に、感動を覚えたのではないでしょうか。卒業生のみなさん、中学校でも頑張ってください！！

【お話の会から・・・】

毎週火曜日（８：２５～４０）に「WAKUWAKU おはなし隊」の方が来られ、本の読み聞かせをしていただきました。途中、インフルエンザ流行や学校行事等の関係で、お休みしてもらうこともありましたが、年間を通して活動していただきました。しんみりとした本の内容では、子どもたちも静かに聞き、面白い本の内容には、笑い声があがり、本の魅力に引き込まれていました。

子どもたちも楽しみにしている「お話の会」。今年度１年間、「WAKUWAKU おはなし隊」の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。